

生命感あふれる  
テーブルアレンジメント

ユニークな形や質感をもつ草花や野菜で、表情豊かに表現してみましょう。

材料：  
吸水性スポンジ……………適量  
平皿……………1枚  
ワイヤー……………適量

使用花材：  
バラ(エメラルド)……………5本  
多肉植物(エケベリア)………1個  
ポリシャス……………2本  
リュウカデンドロン……………2本  
スナップエンドウ……………1袋  
アイビー……………適量

これまでに開催したフラワーレッスンのレシポを特別に公開します!



1. 吸水性スポンジの底辺(ボトム)にアイビーを挿します。中央にも高さ(トップ)の目安として挿します。
2. トップとボトムの間におおむね対角線上になるよう2ヵ所にバラを挿し、メインとなる多肉植物はワイヤリングしてから挿します。
3. スナップエンドウは何本かまとめてワイヤリングし、残りの花材も存在感のある固まりになるようにアレンジします。

Artist  
松本由利

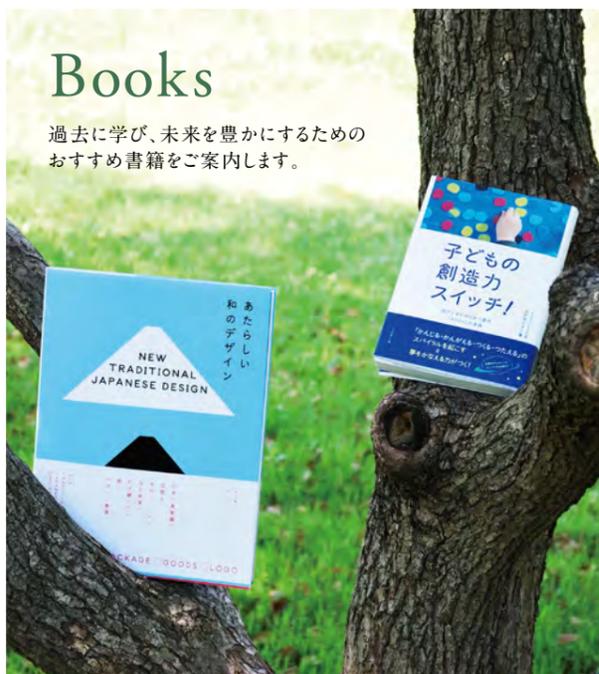
英国人デザイナー、ジェーン・バックカーの元でデザイナー、インストラクターを務めたのち独立。現在は「花と食」「花とインテリア」など、さまざまな分野のコラボレーションレッスンを企画・運営している。



花材それぞれの個性を引き出しましょう

Books

過去に学び、未来を豊かにするためのおすすめ書籍をご案内します。



「あたらしい和のデザイン」

日本に古くからある伝統や美意識を受け継ぎつつも、新しい感性で生み出された「和のデザイン」約150点を、美しいビジュアルで紹介しています。  
定価：3,800円(税別)  
(ピー・エヌ・エヌ新社)

「子どもの創造力スイッチ!遊びと学びのひみつ基地CANVASの実践」

子どもの自発性、好奇心、応用力を育てる新しい学びを多くの事例で紹介し、夢を実現できる子が育つ環境づくりを考えます。  
定価：1,300円(税別)  
石戸奈々子著(フィルムアート社)

NATIVE FLOWER

植物の持つ生命力と美しさを表現した新しいシリーズです。個性的なインテリアとして、男性へのプレゼントとしてもおすすめです。



ネイティブフラワーリース  
独特の形が美しい多肉植物とエアプランツが大胆にあしらわれており、空間に活気を与えます。  
6,000円(税別)



ネイティブフラワーブーケ  
多肉植物を中心に、原始の荒野をイメージした生命力あふれるブーケは、ワイルドな男性へのギフトに最適。  
6,000円(税別)



ネイティブフラワーパレット  
幾何学的な特徴のある花や実を使ったアレンジメントは、まるで現代アートのような。  
6,000円(税別)



ネイティブフラワーアレンジメント  
自然が生み出す造形の美しさが堪能できる、野性味あふれるアレンジメントです。  
6,000円(税別)

Flower さわやかな草花を飾って、夏の暑さをやわらげましょう。



夏のおもいで  
夏の庭で大切な人と花を摘んだおもいでを表現したブーケ。そよ風にゆれる姿をお楽しみください。  
6,000円(税別)



メモワール  
家族や友人を想う特別なシーンにふさわしい、優しさあふれる白いあじさいのフレッシュリース。  
M: 8,000円/  
L: 12,000円(ともに税別)

kusakanmuriのサマーギフトはいかがですか?



日頃お世話になっている方に、感謝の気持ちを込めてフラワーギフトを贈りませんか。kusakanmuriのナチュラルな草花に想いをのせて、大切な方へお届けいたします。

定番のブーケ&アレンジをはじめ、ドライリース、本とセットになった寄せカゴなど多様なギフトをそろえました。贈り先や用途に合わせてお選びください。



kusakanmuri  
〒150-0021  
東京都渋谷区恵比寿西1-17-2  
tel: 03-6415-4193  
http://www.kusakanmuri.com  
open: 12:00 close: 20:00  
火曜定休

- JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン 恵比寿駅西口徒歩4分
  - 東京メトロ日比谷線 恵比寿駅4番出口徒歩2分
- ※グリーンフラッグが目印です



Report Text: 島田一志 Photo(提供写真を除く): 水野聖二  
Special Thanks: お猿島(録音) Art Direction & Design: Concent, Inc.

kusakanmuri  
ブックマーク 最新情報をお知らせします!

Tea Room

アイスハーブティーをはじめます

暑い夏に、冷たいハーブティーはいかがですか? kusakanmuriのティールームでは、夏季限定で、人気のハーブティーを日替わりでアイスにしてご提供いたします。

- スパイシーアイスティー
- レモニーミントティー
- ローズヒップティー 各500円(税込)

※上記3種類の中から、日替わりでご提供となります。  
※ホットのハーブティーは、通常どおり販売しております。



Event

「ファーマーズマーケット」に出店します

この夏も、青山の国連大学前で開催される「ファーマーズマーケット」に出店します。涼やかな印象の水生植物や、個性的な草花をあしらった「ネイティブフラワー」シリーズを販売いたしますので、ぜひお越しください。

「ファーマーズマーケット」  
日時: 2014年7月5日(土)  
10:00 ~ 16:00  
場所: 青山・国連大学前広場  
http://farmersmarkets.jp/



コロリの 白い花 みつけろ!

台北の植物園に咲く、怪しい白い花

4月中旬、台湾省林業試験所植物園でちょっと変わった白い花を見つけた。長くて立派な雄しべに隠れそうな小さな花びらが4枚の、白い冠みたいな花だ。プレートに「蒲桃」とあったので、帰国して調べてみた。

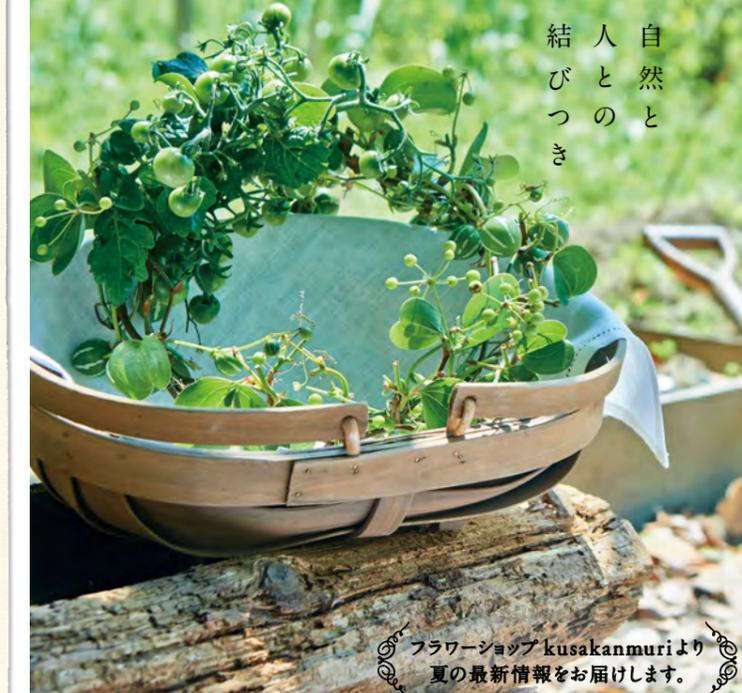
東南アジア原産の常緑高木で、4月頃に開花して夏には小さな黄色い実を付けるそうだ。バラの香りがするので英語名は「ローズアップル」とも呼ばれ、生で食べたりジャムや果実酒として利用された。「蒲桃」を台湾では「プータオ」と発音し、昔は沖縄でも栽培されて「フートー」と呼ばれた。それがいつのまにか「フトモモ」と呼び名も変わり、今では野性化しているそうだ。

台北の街は緑の並木が美しい。街角には名物の胡椒餅やタビオカミルクティーの店もあり、花より団子の散歩好きにはたまらない。

文・写真/田中見二 通称コロリ。1947年長崎生まれ。教科書のデザインや女性誌「クロワッサン」のアートディレクションなどに関わる。



中国名は「蒲桃」、日本名は「フトモモ」



自然との結びつき

フラワーショップ kusakanmuri より  
夏の最新情報をお届けします。

# 自然と人との結びつき

私たちは自然からの恵みに支えられて、毎日を暮らしています。

しかし、日々の生活の中では、つい自分たちが動植物の命のサイクルや、

あらがえない自然環境のもとに生きている、ということを忘れてしまいがちです。

生命力あふれる夏に、自然と人とのつながりについて想いをめぐらせてみませんか。

## Report 漫画家 五十嵐大介さん

ふとした瞬間に感じる草いさけやセミの声、水辺ではしゃぐ子どもたちなど、いきいきとしたエネルギーを感じることの多い夏がやってきます。

今号では、そんな自然の鼓動をダイナミックかつ繊細に描く、漫画家の五十嵐大介さんをご紹介します。農村の豊かな日常から、海を舞台にした壮大な冒険まで、自然をテーマに意欲的な作品を次々と生み出している五十嵐さんは、どんな視点で世界を見ているのでしょうか。

### 自然を描いてきたのは大学時代から

大学では美術を専攻し、当時は油彩画とアクリル画を描いていて、漫画はまったく描いていなかったという五十嵐さん。学校の課題では自然をテーマに選ぶことが多く、なかでも雨や風など、「うつろいやすいものの姿をとらえることが好きだった」そう。また、大学の授業にはあまり顔を出さず、時間があれば一日中散歩をして、その時に撮った写真や道端の草花を見て考えたことなどが、のちの作品のアイデアになったこともあるのだとか。大学卒業後、ふと思いついて『月刊アフタヌーン』（講談社）の新人賞に漫画を投稿。その作品が見事大賞を受賞しただけでなく、初の連載へとつながるきっかけ

をつかみます。投稿作『お雛子が聞こえる日』を第1話とするファンタジー連作『はなしっぱなし』の誕生です。日常の隙間に広がる、ちょっぴり不思議な世界を描いた現代の『遠野物語』とも言えるその幻想的なストーリーの数々は、目の肥えた多くの漫画ファンをうならせました。

### 「いただきます」という言葉の重み

『はなしっぱなし』の連載終了後、生きていくためのスキルを身につけたいと考えた五十嵐さんは、岩手県の盛岡市を経て衣川村（現・奥州市）に移住。自給自足のため、農業を行いながら漫画を描くという生活をはじめます。この時の体験が、のちに農村で自給自足生活を送る女性の日常を描いた『リトル・フォレスト』（講談社）や、飼猫・カボチャへの愛に満ちた『カボチャの冒険』（竹書房）といった作品につながるわけですが、「漫画のネタを探した



『リトル・フォレスト』全2巻（講談社）／緑いっばいの故郷で自給自足生活を送る都会帰りの女性。やがて彼女が知る本当に豊かな生活とは？  
©五十嵐大介／講談社

### 五十嵐大介

1969年埼玉県生まれ。1993年『月刊アフタヌーン』（講談社）の四季大賞を受賞。そののち岩手県の衣川村（現・奥州市）に移住。農作業を行いながら漫画を描く生活を送る。『リトル・フォレスト』（講談社）、『海獣の子供』（小学館）、『はなしっぱなし』（河出書房新社）、『カボチャの冒険』（竹書房）など著書多数。自然をテーマにした壮大な作品で知られる。



五十嵐さんが自給自足生活を送っていた岩手県衣川村の風景 左／スイセンが自生する自宅前。中／稲穂が実る夏の田んぼ。右／『リトル・フォレスト』にも登場するグミのジャムづくり。

めに岩手に行ったわけではありません。まずは農業をしながら、ひとりでどこまで生きていけるかを試してみたかったです」とのこと。衣川では、野菜や米づくりだけでなく、『リトル・フォレスト』のヒロインと同じようにアイガモを解体することもあったそう。そんな五十嵐さんが描く食事のシーン、特にヒロインが発する「いただきます」という言葉が印象に残ります。「いただきますという言葉はもちろん、命をいただくという意味が大きいと思いますが、同時に時間をいただくということでもあるんですね。農作物を育てるといのは簡単にできることではない。畑を耕すところから考えたら何年、いや、何十年もかけて、その恵みをいただくわけですから。花を見て美しいと思う感情も似たようなものだと思います。花を咲かせるまでに手間ひまかけた時間も含めて、人は花を愛しいと思うのではないのでしょうか。それは

（花を）育てた人にも、贈られた人にも共通する感情だと思います」。多くの人々の共感を得た『リトル・フォレスト』は、この夏、橋本愛さん主演で映画化されます。

### 人間もまた自然の一部

母なる海をテーマに、ひとりの少女の壮大な冒険を描いた『海獣の子供』（小学館）は、五十嵐さんにとっては初めての長編連載作でした。沖縄で見た海の美しさが執筆の動機になったそうですが、作中で何度も繰り返されているのは、我々人間はあくまでも自然の一部なのだということ。そして、人類は自然のことをほとんどまだ何も知らないのだということ。「なにしろ深海に行った人のほうが、宇宙に行った人よりも少ないわけですから。海に限らず、目に見える範囲のことだけでわかったつもりになってはいけないというのは、常に思っていることです。また、人間

も自然の一部だというのは、衣川の山の中で土をいじった体験があったの実感です。最後に、漫画と自然の関わりについてうかがってみました。「たしかに私の漫画は自然をテーマにした作品が多いですが、ことさら環境問題などについて深く切り込むつもりはありません。漫画はあくまでもエンターテインメント。ただ、私の作品を読んでもくださった方が、身のまわりの自然や、ふだん見過ごしている風景などに目を向けてくださったらいいな、とは思っています」。五十嵐さんのように、散歩の途中などでちょっと立ち止まって、道端に生えている草花や川の流れを見つめてみませんか。そこにはもしかしたら、いままで気がつかなかったすてきな小宇宙が広がっているかもしれません。

五十嵐大介さんへのより詳しいインタビューは「草冠通信オンライン」に掲載予定です。どうぞお楽しみに。

kusakanmuriのいちおし!

kusakanmuriスタイリストが夏のおすすめをご紹介します!

### スズメウリ

縞模様がかわいいウリ科の植物。水につけなくても長持ちするので、壁に垂らしたりテーブルに置いたりいろいろな飾り方ができます。（中山千裕）



### ベルベロネ

花言葉は「おてんば、ひょうきん」。ユニークな姿が目を引きまします。ひと味違う花を楽しみたい方や、変わったものが好きな方におすすめです。（井上夕美）

### トケイソウ

やわらかな蔦のラインが、アレンジメントにいきいきとした表情を与えます。花が咲くとまた違った雰囲気になります。（吉田麗）

※入荷状況によりご用意できない場合もございます。